

平成29年度

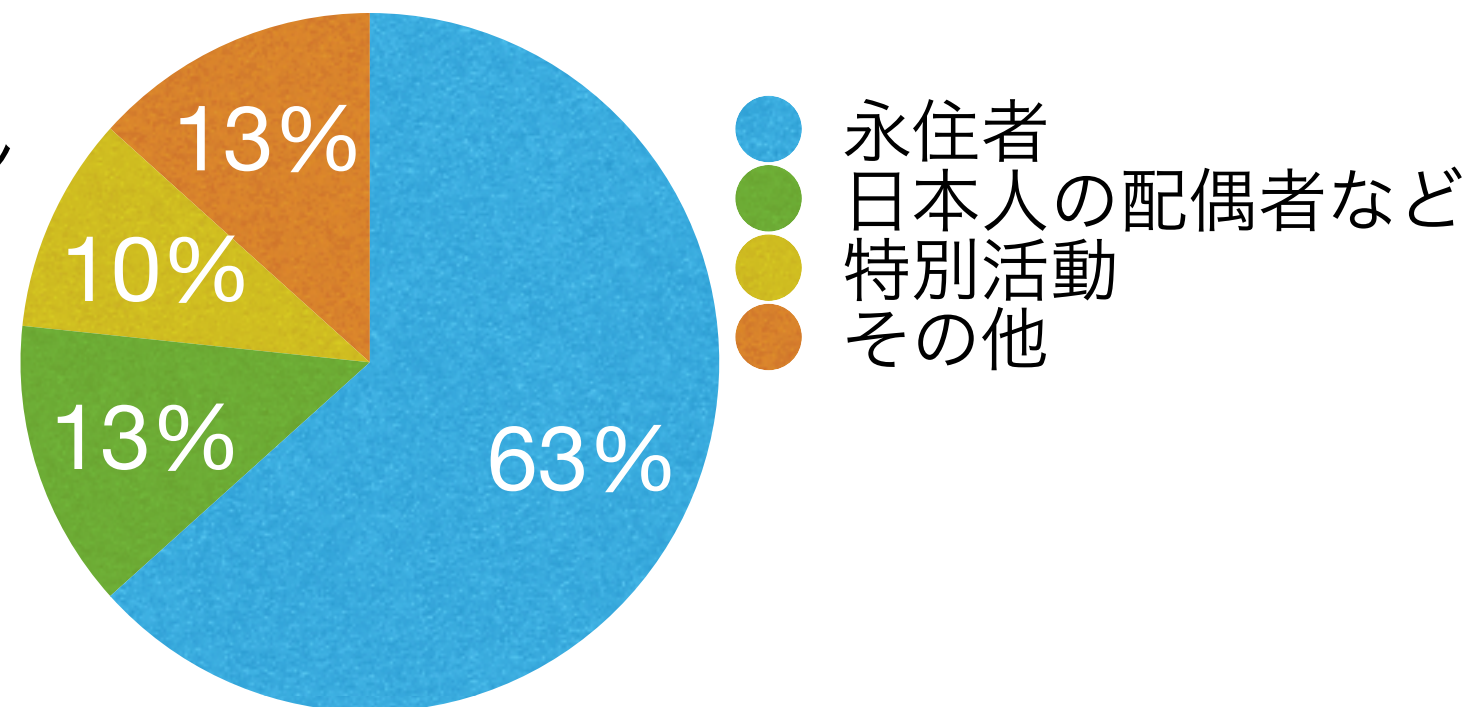
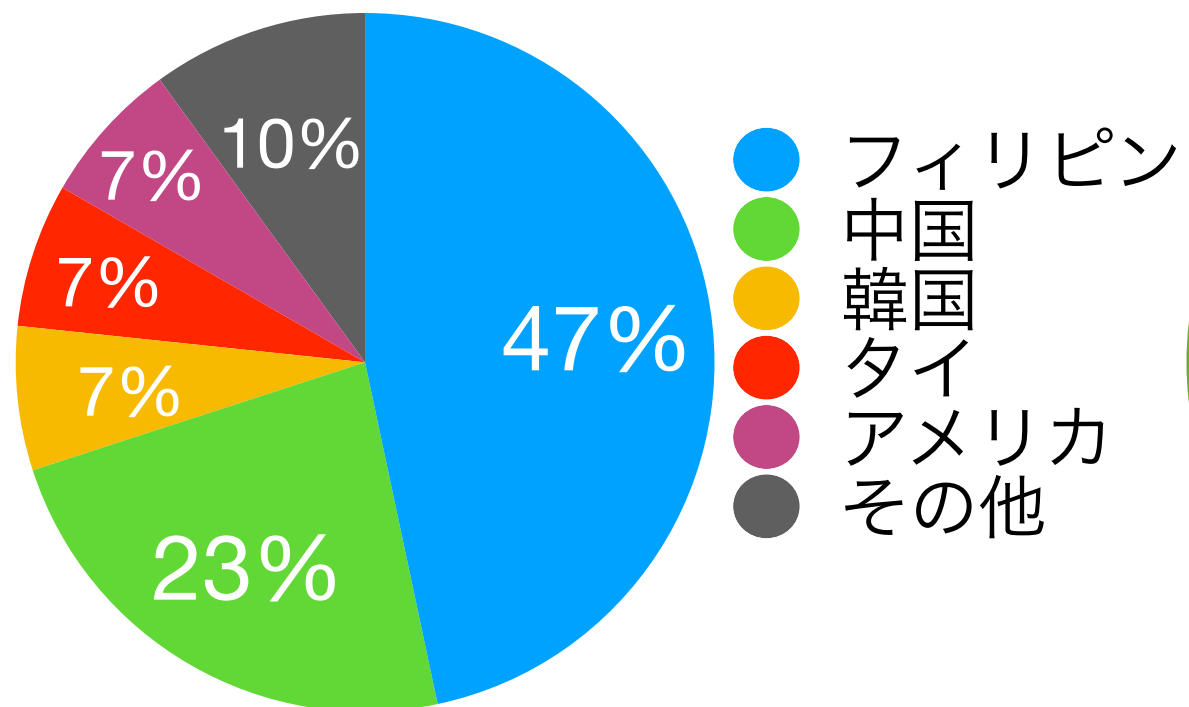
地域日本語教育スタートアッププログラム

つるぎ町教育委員会

～事業の状況について～

状況

- 総人口 9307人（1月31日現在）
- 外国籍者人口 30人
- 国別、在留資格



取り組み

- 会議体
多文化共生を考える会
「ともに」を設立
- 町内の外国籍の方への
アンケート調査



多文化共生を考える会 「ともに」

コンセプト

ともに学び、ともに理解し、ともに豊かに

定例会：毎月第2、4火曜日 19:00～21:00

半田支所 2階 婦人室にて

メンバー5名

8月末～3月までに8回開催

開催したイベント：

貞光街歩き&MAP作りワークショップ 11月23日

留学生との交流会&お茶会

1月20日

それぞれ20名程度の参加

外国籍住民に向けたアンケート

期 間：平成30年1月12日～29日

方 法：郵送

**日本語教育に関する調査の共通利用項目
(文化庁 NEWS発行)**

回答数：10名/30名

10名のうち7名から今後も日本語や日本文化に関する情報が欲しいと回答あり。

コーディネーターの主な活動

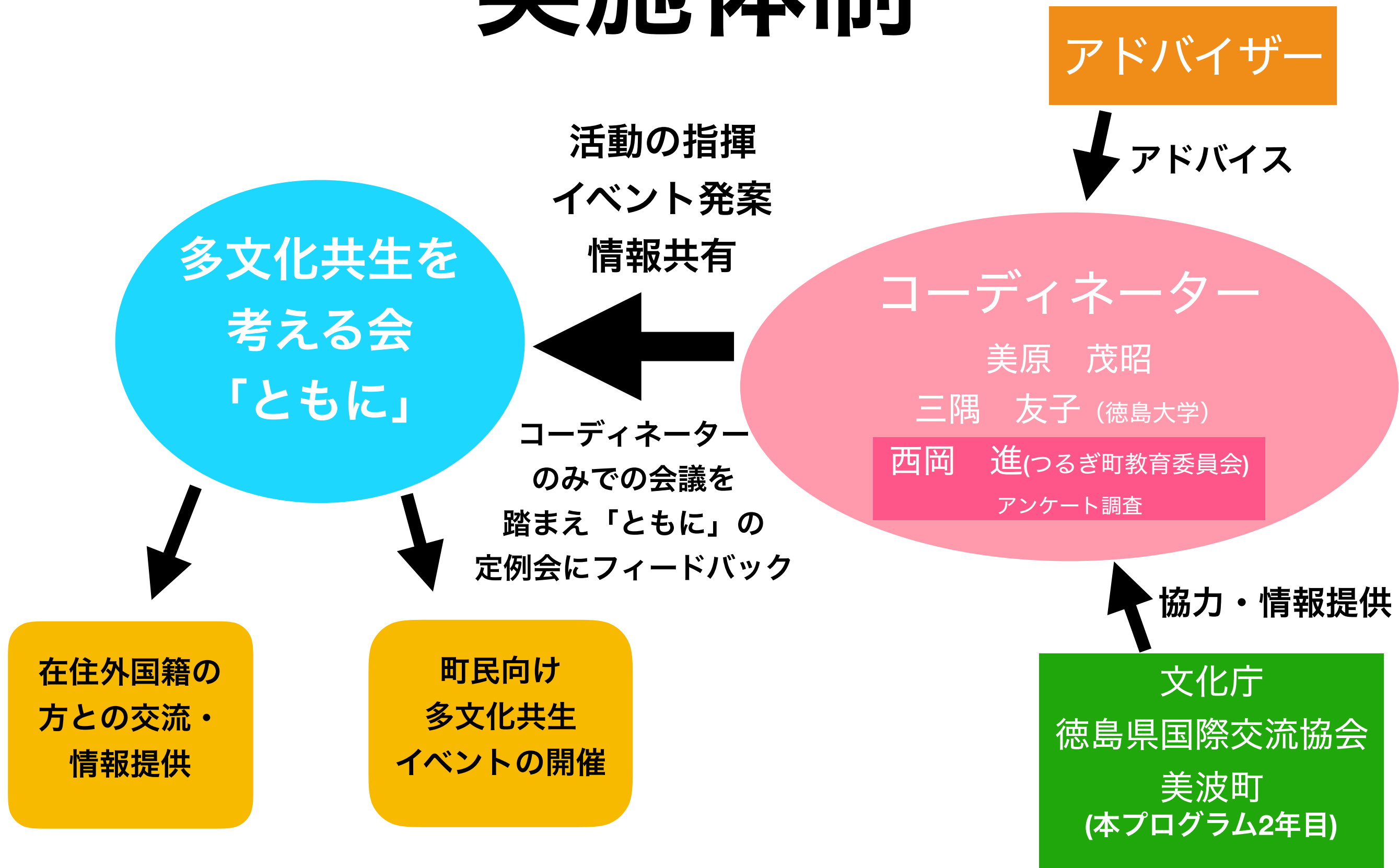
- 日本語教育環境の設立について協議。→「ともに」で在住外国籍の方に向けて情報を発信
- 「ともに」定例会において在住外国籍の方に向け、お茶会の開催を告知
- 他の団体を絡めた活動の計画、準備→徳島大学異文化キャラバン隊との交流など
 - 地元 コーディネーター：100時間
 - 日本語コーディネーター：150時間
 - 行政 コーディネーター：150時間

アドバイザーの主な活動・助言

- 団体設立時のアドバイス
- 町民に向けたセミナーの講演
- コーディネーターとの連携
- 県下2採択団体（つるぎ町・美波町）との合同会議



実施体制



平成29年度今後の予定・課題

- 定例会において、外国にルーツのある住民向けに「お茶会」を開催する。生活の悩み事などを聞く。（まずは知り合うことから）
- アンケート結果からは、日本語で不便はしていないが、より日本語を学びたい、日本の文化を知りたいが距離などの理由から通える日本語教室が無いという意見だった。まずは、そういう人たちに詳しく話を聞き、適切な教室形態を見つけて行く予定である。
- コーディネーター不足である。町内で活動的な人材を見つけることが重要である。

平成30年度の予定

- 外国籍の方一人一人に寄り添い、ともに学ぶ教室体制を目指す。
- 人材育成により時間をかけ、協力者を増やす。
- 「ともに」でのイベント開催や町内イベントへの参加をし、町民の多文化共生への認知を広める。



実施団体名(担当部署名)

つるぎ町教育委員会

(担当課：生涯学習課)

徳島県美馬郡つるぎ町貞光字宮下61

TEL : 0883-62-2331

FAX : 0883-62-2412

mail : syougai@tsurugi.i-tokushima.jp